

国語

いろいろな ふね（せつめいぶん）

竹園東小1年3組
授業者 小倉 桂子

本時の目標

「ぎょせん」と「しょうぼうてい」の役目と構造を基本的な文型を捉えて読み取ることができる。

■ 単元の目標

- 四種類の船について役目と構造や装備の関係を考えながら内容を正しく読み取ることができる。
- 教材文を参考にして簡単な組み立てを考え、好きな乗り物の役目と構造や装備を説明する文を書き発表することができる。

■ I C T活用の視点

○ 確かな学力をはぐくむために

教材文は、特徴的な機能を持った船が例として取り上げられ、それぞれの船の役目を構造や装備と関連付けながら読み進めることができる説明的な文章となっている。例示されている四つの船の役目や工夫している点を読み取る時に、役目を述べている段落、構造や装備について述べている段落、機能について述べている段落を、電子黒板を活用して、色分けすることで、その文章構成や文型を視覚的に捉え理解することができる。その際、挿絵を拡大したり移動させることで、船の特徴を理解する手立てにもなる。また、自分で乗り物の説明する文章を書くための支援ともなる。

○ 学び合い高め合える意見交流活動をするために

みんなで同じ大きな画面を見ながら、本文を読んだり文型を確認したり、船の写真を見て本文との対応をとらえることで、お互いの考えを比較し、共有しながら意見交流活動を活発にさせる。

■ 本時の授業の概要

本教材の導入ではいろいろな乗り物の動画を視聴して、児童の興味を喚起しながら、それぞれの乗り物の役目や機能などについて話し合いを行ってきている。そして、前時では、いろいろな船の4つの例示「きゃくせん」「フェリーボート」「ぎょせん」「しょうぼうてい」について、教科書の写真に対応している説明の文はどこからどこまでなのかを確かめながら、全文を読む学習をしてきている。本時では紹介されている船を一つずつの写真と本文を電子黒板に投影し「～は、～のためのふねです。」(役目)「～には、～や～があります。」(構造)「～は、～や～をつんでいます。」(装備)の文型を見つけ出し色分けしながらそれぞれの船の説明を正確に読み取れるような学習を展開していく。また、教科書の写真を拡大し、本文が書かれている内容がわかる箇所に印をつけていくことで、ひとつひとつの言葉にこだわり読みすすめるようになる。

学習活動	指導上の留意点
1.全文を音読する。	話題提示の段落に着目させ、いろいろな船について書かれていることを確認する。
2.本時の課題を知る。 「ぎょせん」と「しょうぼうてい」のやくめとつくりをたしかめましょう。	
3.教科書の本文や写真手がかりにしてそれぞれの役目と構造を読み取る。 (1)「ぎょせん」の役目、構造を読み取る。 (2)「しょうぼうてい」の役目、構造を読み取る。	それぞれの船の役目と構造がどこに書かれているかを見付けるようにする。役目が書かれている文章を赤、構造が書かれている文章を青で色分けする。
4.役目と構造について書かれている箇所を確かめ合う。電子黒板を見ながら、自分の教科書にも同じように色分けする。	挿絵を拡大し、本文と対応する部分に印を付けながら書かれている内容を確認していく。写真の部分を言葉と対応させながら言葉にこだわり具体的に読み取らせる。
5.読み取ったことをワークシートにまとめる。	◎文型に気を付けながら船ごとに役目と構造をまとめることができる。
6.本時のまとめとして本文を音読する。	電子黒板に映し出されたデジタルの教科書を見ながら音読をする。